

令和5年度 第5回

まちづくりミーティング

大徳、金石町、大野町 校下（地区）

日時 令和5年10月26日（木） 18時30分から

場所 金石会館 3階 ホール

本日は、お忙しい中をご参加いただき、誠にありがとうございます。
進行は次のとおりですので、よろしくお願いいたします。

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 地域代表あいさつ
- 4 進行の説明等
- 5 地域課題について
- 6 共通課題について
- 7 質疑応答、意見交換
- 8 市長まとめ
- 9 閉会

金沢市広報広聴課

TEL 220-2348

FAX 220-2030

提出課題一覧

1 地域課題

番号	地域課題	頁
1	消防分団員のなりて不足をどうするか (大徳地区連合町会)	P2 P3
2	①人口減少、高齢化 ②「まちづくり」は何の為？ ③海岸道路の安全について (金石町校下町会連合会)	P4 P8
3	1. こまちなみ保存区域を活用したまちづくりのこれから 2. 『発酵食のまち 金沢・大野』をタイトルにして インバウンド客・観光客・県民や市民にPRをする (大野町町会連合会)	P9 P12

2 共通課題

番号	共通課題	頁
1	地域公共交通網の整備促進について	P13 P15

地域課題 1

町会連合会名	大徳地区連合町会
地域課題	消防分団員のなりて不足をどうするか
現状と課題	<p>近年、大徳地区の消防分団員数は減少を続けている。就業形態の変化や少子高齢化の進展等により、団員の減少に歯止めがかからないのが現状である。約20年前は35人定員に対して充足率100%だったが、現在は約46%半数以下の16名に減少している状況である。地域の消防・防災力を確保するためにも、消防団員を確保することは喫緊の課題であり、同時多発的に発生する風水害などに対して分散対応ができるかなど大徳地区連合町会として大変憂慮しているところであり、消防分団員数の不足を一刻も早く充足していかなければならない。なりて不足の原因として、変則的な出勤時間について勤務先の理解、援助が十分でない、健康管理が維持しにくい、出勤時の家族へのケアが行き届かないなど多岐にわたると考えられる。課題として、分団自体の努力はもちろんであるが、地元連合町会から市に対し総合的な支援、施策をお願いしたい。</p>
地域が考える対応策・解決策／協議したい事項	<p>分団運営費用については、分団より連合町会へ助成金の増額要請があり、資金面ではより活動しやすくなるよう検討中である。分団員の活動報酬などについては、市に対し、報酬の増額、税の優遇、夜勤手当、退職慰労金などより充実した金沢市独自の施策がほしい。また、行政が勤務先への補償など、企業への協力や職場の理解など活動しやすい環境をバックアップしてほしい。小中高生への啓発や若い世代へのより多くの発信をしてほしい。いずれも市と共に取り組まなければ解決の糸口にならないと考える。</p>

市の方針等説明書（地域課題 1）

地域課題	消防分団員のなりて不足をどうするか
協議事項	報酬の増額、税の優遇、夜勤手当、退職慰労金など、より充実した金沢市独自の施策がほしい。勤務先への補償など、企業への協力や職場の理解など活動しやすい環境をバックアップしてほしい。小中高生への啓発や若い世代へのより多くの発信をしてほしい。
市の方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・このことについては、災害の多発化・激甚化に伴い、消防団に求められる役割は多様化しているものの、全国的には入団者数の減少が進み、地域防災力の低下が危惧されることから、本市としても団員確保と活動環境の改善につなげるべく多角的に改善策を投じているところであります。 ・報酬に関しては、令和4年度から団員個人に支給している年額報酬、災害・警戒出動報酬の単価を増額、また、消防分団を運営するための必要経費として支給している運営交付金についても令和4年度から地域の実情に応じた弾力的な活動経費を確保するために増額支給しております。 ・退団時には、在団期間が5年以上であれば、条例に基づき退職報償金を支給しており、さらに1年以上5年未満であっても金沢市消防団員共済会から独自に退職給付金を給付しているところであります。 ・勤務先への協力依頼については、消防団ポンプ車操法大会にむけた練習が多くなる前の5月中に「金沢市消防団ポンプ車操法大会に向けた消防団活動に対するご支援について」という依頼文を団員からの要望に応じて送付しています。また、消防団員を雇用している事業所の事業主に対して感謝状を贈呈しているほか、消防団の活動に積極的に協力している事業所に対しては「消防団協力事業所」として認定し、表示証を交付するなど、理解促進を図っています。 ・若い世代へのPR施策としては、令和4年度から「二十歳の集い」にてリーフレットを配布し、SNSを活用した広報及び、スマホにも対応できるよう刷新した消防団ホームページに誘導し、消防団を知ってもらい、興味をもってもらえるように広報活動を展開しています。 ・今後も消防団の意見を聞きながら、効果的な団員確保策について検討していきます。
担当課	消防局 消防総務課 電話 280-1028

地域課題 2

町会連合会名	金石町校下町会連合会
地域課題	<p>①人口減少、高齢化</p> <p>②「まちづくり」は何の為？</p> <p>③海岸道路の安全について</p>
現状と課題	<p>①・交通至便の地であるにもかかわらず、転入が少ない。 若者の流出。 ・魅力的地域と認知されていない。 ・空き地、空き家が有るが利用されにくい。新築が少ない。</p> <p>②・「まちづくり」の意義・目的が住民に理解されにくい。 住民がおだやかに暮らしていける地域を望み、 静かな古くさい街を好む人もいる。 ・今一度「まちづくり」の意味を考え直す事も必要かと思う。</p> <p>③・海岸道路は現在全く歩道が無く、非常に危険な状況です。 スピードを出す車も多く、いつ事故が起きてもおかしく無い状況です。</p>
地域が考える 対応策・解決策 ／協議したい事項	<p>①・若者が興味を持ち、集まってくる様な施設があれば良いと思う。(スケートパーク、BMX パーク等) ・空き家を再生し若者がショップを開店して、若者の文化発信が出来る様な方策はないでしょうか。</p> <p>②・古民家に若い住人を誘う為の行政補助と、行政支援をお願いしたい。 また、「金石を1万人の町に」などスローガンを掲げることも、ひとつの方法かと思えます。</p> <p>③・埋立地の活用と併用で考え、県に要望を出して検討して欲しい。 ・歩道ができれば、海岸道路の印象も変わると思う</p>

市の方針等説明書（地域課題 2-1）

地域課題	① 人口減少、高齢化
協議事項	若者が興味を持ち、集まってくる様な施設があれば良いと思う。 (スケートパーク、BMX パーク等)
市の方針等	<p>1. 現在金沢市では、スケートボードが楽しめる施設としては、東金沢駅前にある「東金沢スポーツ広場」があります。 平成18年のオープン以来、地元の競技者を中心に幅広い年代の方に利用されており、令和4年度には6千人もの利用実績があったと聞いています。</p> <p>2. 一方、他都市では、騒音等により、周辺住民などから苦情を受けているケースもあると聞いており、地域の理解がなによりも重要と考えています。</p> <p>3. 建設箇所について具体的なお示しがないので、明確な返答はできませんが、現在、石川県西部緑地公園再整備の骨子案の中で、アーバンスポーツパークの設置が提案されたこともあることから、県の動向を注視してまいります。</p>
担当課	文化スポーツ局 スポーツ振興課 電話 220-2443

市の方針等説明書（地域課題 2-2）

地域課題	① 人口減少、高齢化
協議事項	空き家を再生し若者がショップを開店して、若者の文化発信が出来る様な方策はないでしょうか。
市の方針等	<p>空き家を活用した若者の出店促進につきましては、地域に密着したビジネスを起業する40歳未満の若者を支援する「地域連携若者起業家支援事業」を設けており、毎年10件程度の事業を採択しております。特に業種の制限等はありませんので、出店を希望される方をご紹介いただければご説明させていただきます。</p> <p>また、活力ある地域商店街づくりを推進するため、会員店舗の退店後2年以内に、当該空き店舗に小売、一般飲食、生活関連サービス業の店舗を新規出店される場合は、店舗の出店及び継続に係る経費を支援する「地域商店街出店促進事業」を活用できる場合もありますのでご相談ください。</p>
担当課	<p>経済局 産業政策課 電話 220-2204 商工業振興課 電話 220-2193</p>

市の方針等説明書（地域課題 2-3）

地域課題	②「まちづくり」は何の為？
協議事項	古民家に若い住人を誘う為の行政補助と、行政支援をお願いしたい。
市の方針等	<p>金沢市の古民家を活かす施策として、以下の補助制度や支援事業があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「金澤町家再生活用事業」 昭和25年以前建築の歴史的建造物、いわゆる金澤町家を対象として、その修復やまちなみに合わせた改修を支援する補助制度です。 ※補助率50%、住宅：限度額150万円、店舗：限度額250万円 ・「こまちなみ保存修景事業」 金石町地区には、こまちなみ保存区域が指定されていますが、区域内にある金澤町家を対象として、その修景や改修を支援する補助制度です。 ※補助率70%、限度額300万円。こまちなみ保存建造物：限度額500万円 ・また、町家を利活用したい方と町家所有者をマッチングする「流通コーディネート事業」を金澤町家情報館で行なっています。 ・そのほか、防火構造の整備に係る補助制度等もございますので、町家への移住や利活用については、歴史都市推進課にご相談ください。
担当課	文化スポーツ局 歴史都市推進課 電話 220-2208

市の方針等説明書（地域課題 2－4）

地域課題	③海岸道路の安全について
協議事項	<p>・海岸道路は現在全く歩道が無く、非常に危険な状況です。スピードを出す車も多く、いつ事故が起きてもおかしく無い状況であるため、埋立地の活用と併用で考え、県に要望を出して検討して欲しい。歩道ができれば、海岸道路の印象も変わると思う。</p>
市の方針等	<p>埋立用地に接する海岸道路（臨港道路 金石大野線）については、金沢港の整備にあわせて交通量の増加が見込まれることから、港湾管理者である県に対し、歩行者の安全を確保するための対策を講じるよう、要望していきたいと考えています。</p> <p>また、埋立用地の活用についても、現在、県において、今年度中の策定に向けて金沢港将来ビジョンの検討を進めているところであり、市としても、地域の振興・活性化にも資するものとなるよう、臨港道路の整備と合せて、県に対し、引き続き要望していきます。</p> <p>今後とも、県や関係団体と連携を図りながら、取り組んでまいります。</p>
担当課	都市政策局 企画調整課 電話 220－2031

地域課題 3

町会連合会名	大野町町会連合会
地域課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. こまちなみ保存区域を活用したまちづくりのこれから 2. 『発酵食のまち 金沢・大野』をタイトルにして インバウンド客・観光客・県民や市民にPRをする
現状と課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. これまで、こまちなみ保存区域を利用したイベントの開催やコミュニティ活動に取り組んできており、特に町の中心である4丁目地内は古い町家が多く残り、ここ数年観光客が訪れ、大野日吉神社の例大祭では4丁目大通りに神輿が練り歩き、多くの人が集まります。 <p>平成29年に町会連合会を中心に大野みらい・まちなみ委員会を設立し金沢市の協力の下、4丁目上地区を「こまちなみ保存協定区域」とし、歴史的建造物の改修や、町並み景観と調和する建替え事例なども見られるようになり、町民にその価値を再認識されるようになってきました。</p> <p>H19年度大野町4丁目地内道路整備構想策定ワークショップを、金沢市道路管理課、コンサルタント業者を交えて検討を重ね、平成23年度に市より道路整備の設計案が示されましたが、側溝部分のみの整備であり、10数年かかりようやく完了の状況である。</p> 2. 大野町では、江戸時代から加賀藩の特産品として「大野醤油」を作り続けています。また、この地では他にも「加賀味噌」「大根寿し」「かぶら寿し」「こんかいわし」「フグぬか漬」「フグ粕漬」「酒まんじゅう」等々地元の特産品があります。一方で、廃業による使われなくなった醤油蔵（工場）や町家も散見され、建物内部には太い材木が豊かに使われている立派な資産が生かされていないことを見るのは残念な思いです。
地域が考える 対応策・解決策 ／協議したい事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度作成する「町家・旧町名のマップ」を活用し、町民の意識向上を高めるとともに、町並み保存に繋げていきたく、こまちなみ保存区域に合った道路や歩道の整備（「指定骨材使用密粒度アスファルト舗装」や「石畳舗装」）また照明設備（フットライト）の設置で歩行者にやさしい道路修景を要望します。 <p>また併せて多くの町家が残る「大野町6丁目区域」を町並み保存のために、こまちなみ保存区域に指定して頂きたい。</p> 2. 既に在る建物を活用したリノベーションを行なわれ、新しい魅力（発酵に関連するレストランやブティックホテル等の新設）が加われば良いと考えます。 <ol style="list-style-type: none"> ①ポスターを製作して金沢駅や市内ホテルに掲示し 「発酵食のまち金沢・大野」のイメージPRのため市の担当課にご協力を賜りたい。 英語＝“The Home of fermented foods, Kanazawa 0-Onomachi” ②レストラン誘致の相手（県外資本で地方進出の意志ある会社）リストを作り、市の担当者に一緒に営業活動をして欲しい。

市の方針等説明書（地域課題 3-1）

地域課題	1. こまちなみ保存区域を活用したまちづくりのこれから						
協議事項	<p>1. 今年度作成する「町家・旧町名のマップ」を活用し、町民の意識向上を高めるとともに、町並み保存に繋げていきたく、こまちなみ保存区域に合った道路や歩道の整備（「指定骨材使用密粒度アスファルト舗装」や「石畳舗装」）また照明設備（フットライト）の設置で歩行者にやさしい道路修景を要望します。</p> <p>また併せて多くの町家が残る「大野町6丁目区域」を町並み保存のために、こまちなみ保存区域に指定して頂きたい。</p>						
市の方針等	<p>こまちなみ保存区域内の市道（大野町4丁目地内のバス通り）におきまして、平成24年度から側溝整備事業に着手しておりますが、地域の方々のご協力により、今年度で完了予定となっております。</p> <p>今後につきましては、次年度以降、道路の修景に係る詳細な測量等を実施のうえ、設計に着手してまいりたいと考えております。今後とも、地域の方々と調整を図りながら、まちなみに見合った道路修景整備を進めていきたいと考えております。</p> <p>また、こまちなみ保存区域は、地域の特色が感じられる歴史的まちなみが集積する区域を、市民の皆様とともに守り育てるものです。そのため、区域の指定につきましては、市が一方向的に指定するものではなく、地元にお住まいの皆様とともに守るべき範囲について話し合いながら、双方の合意の上で決定するものです。</p> <p>※区域の指定までのおおまかな流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) こまちなみ保存区域に関する勉強会の開催、住民意向の把握 (2) 「こまちなみ保存計画」の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・指定候補区域内のまちなみの現況調査と評価 ・保存整備の方針、保存基準（案）の作成 等 (3) 地元住民の合意を踏まえた指定区域の決定 (4) 区域指定を踏まえた保存基準の運用開始 <p>地元として新たな区域指定に向けたご要望がある場合は、歴史都市推進課で、あらためて当該区域の現況確認の上、ご相談させていただきたいと思っております。</p>						
担当課	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">土木局</td> <td style="width: 33%;">道路管理課</td> <td style="width: 33%;">電話 220-2321</td> </tr> <tr> <td>文化スポーツ局</td> <td>歴史都市推進課</td> <td>電話 220-2208</td> </tr> </table>	土木局	道路管理課	電話 220-2321	文化スポーツ局	歴史都市推進課	電話 220-2208
土木局	道路管理課	電話 220-2321					
文化スポーツ局	歴史都市推進課	電話 220-2208					

市の方針等説明書（地域課題 3-2）

地域課題	2. 『発酵食のまち 金沢・大野』をタイトルにして インバウンド客・観光客・県民や市民にPRをする
協議事項	2. ①ポスターを製作して金沢駅や市内ホテルに掲示し 「発酵食のまち金沢・大野」のイメージPRのため市の担当課に ご協力を賜りたい。
市の方針等	<p>ポスターの制作については、本市の食文化の振興に寄与する事業に対し助成する「金沢の食文化推進事業補助金」（補助率1/2、上限300千円）を活用することも考えられますので、一度ご相談ください。</p> <p>製作されたポスターについては、金沢駅観光案内所等の観光案内所に掲示できるほか、金沢市観光協会会員の宿泊施設等に掲示の協力を依頼するなど、本市においても観光客や県民、市民に向けて「発酵食のまち金沢・大野」のPRに協力していきたいと考えております。</p>
担当課	<p>経済局 産業政策課 電話 220-2204 観光政策課 電話 220-2194</p>

市の方針等説明書（地域課題 3-3）

地域課題	2. 『発酵食のまち 金沢・大野』をタイトルにして インバウンド客・観光客・県民や市民にPRをする
協議事項	2. 既に在る建物を活用したリノベーションを行なわれ、新しい魅力(発酵に関連するレストランやブティックホテル等の新設)が加われば良いと考えます。 ②レストラン誘致の相手(県外資本で地方進出の意志ある会社)リストを作り、市の担当者に一緒に営業活動をして欲しい。
市の方針等	<p>本市としても、港町の風情が残る大野地区は、古い醤油蔵を利用した若手工芸作家のギャラリーや工房が開設されるなど、独自のまちづくりに積極的に取り組んでいただくとともに、多くの発酵食品の製造が盛んな地として、今も本市の食文化を支える地区であると考えており、ご提案の食文化に関する取り組みについて、有益な情報があれば共有させていただきたいと考えています。</p> <p>なお、既に在る建物を活用したリノベーションについては、これまで大野町区域でも、昭和25年以前建築の歴史的建造物、いわゆる金澤町家について、「金澤町家再生活用事業」を活用して、店舗に改修した事例もあります。</p> <p>※R3年度 チロル堂、ワンコイン食堂 こまちなみ保存区域外で、町家を店舗・宿泊施設に改修する場合も、上記事業を活用できますので、歴史都市推進課にご相談ください。</p> <p>※補助率50%、店舗：限度額250万円、宿泊施設：限度額300万円</p>
担当課	<p>経済局 産業政策課 電話 220-2204 文化スポーツ局 歴史都市推進課 電話 220-2208</p>

共通課題

共通課題	地域公共交通網の整備促進について
現状と課題	<p>人口減少・少子高齢化が進むなか、地域の活力を維持するとともに、医療・福祉・通学・通勤・商業の生活基盤を確保し、子供たちや高齢者が安心して暮らせるよう、地域公共交通網の整備を推し進める必要がある。地域住民の利便性を確保し、公共施設や歴史文化を訪ねる人たちの為に、時代や地域の変化とともに改善すべき問題が数多くある。さらなる町民の利便性を図るために提言したい。</p>
地域が考える対応策・解決策／協議したい事項	<p>別紙の運行案の通り</p> <p>例えば、金沢駅を起点に50m道路を進み、合同庁舎、石川県中央病院、県庁、地場産センター、アピタタウン金沢ベイ、金沢港クルーズターミナルを廻り、大野町から金石界限、銭屋五兵衛記念館・大野湊神社へ、そして済生会病院を廻り、金石街道を出て木曳野、大徳校区より金沢駅に到着する周遊バス（フラットバス）の運行など。当地区住民の利便性を図ると共に、金石、大野地区に最近多くなってきている観光客からのニーズも取り入れる。</p>

(別紙 運行図)

金沢駅付近	
合同庁舎	
石川県立中央病院	北鉄バス併用
石川県庁 or 地場産	北鉄バス併用
アピタタウン金沢ベイ	
金沢港クルーズターミナル	北鉄バス併用
大野町	北鉄バス併用
大野町公民館	北鉄バス併用
金石小学校付近	北鉄バス併用
金石公民館	北鉄バス併用
銭屋五兵衛記念館	
大野湊神社	北鉄バス併用
済生会金沢病院	北鉄バス併用
海みらい図書館	北鉄バス併用
ゲンキー畝田店	北鉄バス併用
大阪屋ショップ大徳店	北鉄バス併用
金沢市立工業高校	北鉄バス併用
イオン示野店	北鉄バス併用
金沢ゆめのゆ	北鉄バス併用
金沢駅付近	北鉄バス併用

市の方針等説明書（共通課題）

地域課題	地域公共交通網の整備促進について
協議事項	<p>例えば、金沢駅を起点に 50m道路を進み、合同庁舎、石川県中央病院、県庁、地場産センター、アピタタウン金沢ベイ、金沢港クルーズターミナルを廻り、大野町から金石界限、銭屋五兵衛記念館・大野湊神社へ、そして済生会病院を廻り、金石街道を出て木曳野、大徳校区より金沢駅に到着する周遊バス（フラットバス）の運行など。当地区住民の利便性を図ると共に、金石、大野地区に最近多くなっている観光客からのニーズも取り入れる。</p>
市の方針等	<p>ご提案の周遊バスについては、本市におけるバス路線の現状が、金沢駅から郊外へと放射状に広がっている路線がメインとなっている中で、住民や観光客の交通の利便性向上の観点から、放射状の路線に加え、郊外の各地区を横方向につなぐ路線が必要とのご趣旨と理解しています。</p> <p>単に横方向に移動するバスについては、これまで、海側環状道路を通る環状バスなどの交通実験を行ったものの、利用者が少なく、本格運行に至らなかった経緯がございます。</p> <p>一方で、今回のご提案のように、各地域において、現状のバス路線を補完する、若しくは、利便性をより高める移動手段が必要であるというご要望があることも承知をしているところです。</p> <p>市では、そうしたご要望にもお応えしていくため、地域の皆様が主体となって自らの地域交通をつくる「地域運営交通支援制度」を設け、導入に向けた地域での勉強会の開催や、地域ニーズの把握、運行計画の作成から本格運行まで、導入をサポートする体制を整えています。</p> <p>このため、まずは、「地域運営交通支援制度」について、ご説明させて頂き、皆様の地区において、どのように制度を活用できるのか、地域の実情をお聞きしながら、ご相談させて頂きたいと考えています。</p>
担当課	都市政策局 交通政策課 電話 220-2038